

フォルクスワーゲン「ゴルフGTIカップ」最終戦終了 2回の耐久レースをノートラブルで完走し、DSGの耐久性を証明

VOLKSWAGEN **Racing**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)と、レース運営組織であるフォルクスワーゲン・トロフィ・アソシエーション(V・T・A)が開催する、“ゴルフGTI カップ ジャパン 2005”最終戦決勝が、薄曇りの絶好のレース日和に恵まれたMINEサーキット(所在地:山口県美祢市)にて、9月11日(日)に開催されました。

BRIDGESTONE

Castrol

CAITZ

CHORO-Q

Clarion

Lufthansa

mobilecast

HEAD

COX

NPSM

Volkswagen Japan

“ゴルフGTI カップ ジャパン 2005”は、フォルクスワーゲンAGが開発した新世代のトランスミッションであるDSG®を搭載した車両による世界初のワンメイクレースです。ナンバー付きのゴルフGTI 2ドア仕様車をベースに専用のカップカー装備を施した車両で、全国5ヶ所のサーキットを転戦しました。最終戦となるMINEサーキットでは、今シーズン、菅生に次いで2度目となるフォルクスワーゲン100km耐久レースとして、ゴルフGTIカップとレーシングカップの混走で実施。ゴルフGTIカップ エキスパートクラス(GE)に6台、クラブマンクラス(GC)に9台と、フォルクスワーゲンレーシングカップ ルポGTI クラス(VWL)に3台、ゴルフ3GTI クラス(VWG)に5台の計23台のエントリーを集めました。

決勝戦は **MINE サーキット**(1周 3.330km)を30ラップする約100kmのレースとして行なわれました。GEクラスでは、初戦からポールトゥフィニッシュを決めている坂本選手(TEAM DUO GOLF GTI)が予選トップタイムを獲得。ゲストドライバーの Jimmy Johansson * 選手(VW Golf GTI)は、2番手からのスタートとなりました。序盤リードを広げた坂本選手は、レギュレーション上の義務付けピットストップ後に Johansson 選手に先行され、激しく追いつけるも届かず2位となりました。GCクラスでは、第4戦のウイナー白石選手(VAAM with BIANCO)が接戦を制し2連勝を飾りました。VWGクラスでは岩谷選手(RiverWestRacing)が、また VWLクラスでは大井選手(REV SPEED ADVAN)が両者共に予選でコースレコードを更新する好走を見せ、決勝でも貫禄の走りですれぞれクラス優勝を飾りました。

最終戦: 決勝公式結果 目)

ベストタイム: Johansson 選手 1'51"064(2周)

決勝	クラス/予選	シリーズ pt.	ドライバー/車名	所要時間/周回	決勝	クラス/予選	シリーズ pt.	ドライバー/車名	所要時間/周回
1	GE-2	18	Jimmy Johansson VW Golf GTI	57'31.10/30	11	GC-3	55	鈴木 裕麿 砂沼湖畔クニック GTI	58'15.65/29
2	GE-1	82※	坂本 祐也 TEAMDUO GOLFGTI	57'33.25/30	12	VWG-3	46	鈴木 博之 TS Racing Toy 1	58'58.18/29
3	VWG-1	77※	岩谷 昇 RiverWestRacing	57'44.65/30	13	GE-5	43	浜崎 大 ゴルフファン GTI	54'51.83/28
4	GE-3	57/13	松永 健 /阿部 翼 モバイルキャストレーシング	58'13.65/30	14	VWL-2	58※/10	小保方 宏征 /岸 朋孝 プレスルポ GTI	57'44.11/28
5	GC-2	80	白石 隆 VAAMwithBIANCO	58'44.98/30	15	VWG-5	9	藤尾 裕宣 シュタットアーツ & Cats	58'01.25/28
6	GC-1	12/94※	大谷 達也 /岩本 匡史 CHORO-Q CG GOLF	58'47.58/30	16	GC-6	10/4	後藤 達也 /近藤 隆彦 ヒマラヤ GTI with メッセ	58'01.87/28
7	GE-6	2	宮本 新 フォルクスワーゲン広島 GTI	58'50.12/30	17	GC-8	21/0	山口 一宏 /畠山 成章 ガレージボルズ Golf GTI	58'20.12/28
8	GC-4	67	小野 泰治 LVスポーツ GTI	59'09.58/30	18	GC-7	4	田中 康成 カストロールクラブ☆GTI	58'23.84/28
9	GC-5	32	村上 政 エンジン・ゴルフ GTI	57'35.91/29	19	VWG-4	2	矢田 堅巳 J's GTI	58'34.36/28
10	VWL-1	19/12	大井 貴之 /佐藤 和徳 REV SPEED ADVAN	57'50.68/29	20	VWL-3	8/13	仲田 豊洋 /須田 武和 TEAM GG LupoGTI	57'40.67/25

※ 各クラスのシリーズチャンピオン



ADVAN

BRIDGESTONE

Castrol

CHORO Q

Lufthansa

COX

NPSM
NEW PACIFIC SPORTS MARKETING INC.

“フォルクスワーゲンレーシング サーキットトライアル”

フォルクスワーゲンオーナーによるJAF公認タイムトライアル。出走台数は9台と地元山口及び近県からの参加を始め、全国の有名サーキットでの走行を楽しみにしている転戦組まで、幅広いフォルクスワーゲンオーナーが集う人気イベントです。

正式総合結果

Volkswagen Japan

決勝	クラス/順位	ゼッケン	ドライバー/車名	ベストタイム	決勝	クラス/順位	ゼッケン	ドライバー/車名	ベストタイム
1	C3-1	8	埴原 雅彦 Honey GZ Ver. 2	1'56.660	6	C4-1	9	阿野 安雄 ソフホックスゴルフII	2'00.562
2	C3-2	7	生島 昇 NCC-1701-A	1'57.950	7	C2-2	3	七尾 弘樹 A-team・砂子塾115号車	2'01.867
3	C3-3	6	所 孝明 お先にどうぞ?!1001	1'58.686	8	C1-2	1	平木 寛人 ブルグ&ジラーレゴルフIII GLI	2'02.506
4	C2-1	5	市川 篤 おさきにどうぞ ルポGTI	1'59.593	9	C2-3	4	白石 和行 クラフトガレージルポGTI	2'03.252
5	C1-1	10	浅野 展久 通勤ゴルフ 13 万キロ	2'00.288					

* Jimmy Johansson選手

1984年7月17日 (21) スウェーデン生まれ

94年からカートを初め、2000年から本格的にレース活動を開始。

2005年度ドイツのADAC Volkswagen Polo Cupに初参戦。

現在8レース中1勝。4度のポールポジションを取るなど、シリーズチャンピオン争いをしている若手有望ドライバー。

V・T・Aでは今年度から、日本のゴルフGTIカップと独のPolo Cupの、それぞれのレースシリーズから成績優秀者を相互派遣し、日独のレースシリーズの交流を図るプログラムを実施しています。

今回Johansson選手はこのドライバー交流プログラムによってゴルフGTIカップジャパンに招待され、ゲストドライバーとして参戦しました。

また、今年度ゴルフGTIカップジャパンのシリーズチャンピオン坂本選手は、ドイツで実施されるPolo Cup最終戦(ホッケンハイム:10月22-23日)にゲストドライバーとして参戦。今回惜敗したリベンジを果たすべく、Johansson選手に再度挑みます。

<上記レース車両全般、及びレース全般に関するお問い合わせはV・T・Aまでお願いします>

V・T・A:フォルクスワーゲン・トロフィ・アソシエーション/コックス(株)内

担当:大澤/中泉 TEL: 0465-80-0820 FAX: 0465-80-0821